



女性の立場で

南国市連合婦人会（別役敏子会長）の主催で、毎年実施されている「市政会議」が、2月26日、南国市役所で開かれました。

会議は模擬市議会形式で行われ、13地区の婦人会の代表14人が市執行部を相手に活発に意見を交換。

「10万都市への創設」をテーマに、文化の森公園建設や後免町再開発、これからの女性問題など6項目にわたって市の考えをいただきました。

30回を数えた伝統の農協訪問駅伝大会が近年の交通事情から存続が困難になり、やむを得ず中止となった後、規模を約半分にしてスタートした南国市駅伝競争大会。

2月14日、マラソン日和にもめぐまれ、参加者は49チーム、376選手に、大町市長から「南国市はマラソンのメッカ。第1回の記念の大会でもあり、大いに健闘を」と激励を受けた後、選手たちは力強くスタートしました。

優勝したのは次のチームです。

一般の部＝南国市役所A.C.A、高校・大学の部＝高知農業A、中学の部＝香長中A、女子の部＝南国陸上クラブ。

新たに、小・中



二月十九日、南国市子ども会連合会キャラバン隊の人形劇が、市内の小学校と南海学園を訪問しました。これは、子どもとの交流を図り、少しでも感動を与えることができればと、子ども会の保護者の方が手作りで行っているもので、今回で二十三日目。今年も土佐の民話「お月さんもも色」で、子どもたちは「面白かった」と喜ぶように、熱心に見入っていました。

手作りの感動を



さあっ！ いらっしやいっ！！

二月二十八日に、土佐はし拳全日本選手権両回場所が市民体育館で行われ、七十五チーム二百二十五人が優勝を競い合いました。これは、日本はし拳南四国協会（中村隆之会長）らが主催して毎年実施しているもので、今年で十四回目。団体戦と個人戦で争われ、参加者は真剣に、かつ、ほろ酔い気分での勝負に望んでいました。

カメラリポート



みんなまで



仲良く

二月二十三日は久礼田小一年生がなんこく共同作業所に、三月四日には三和小一年生が白根荘のお年寄りへ、自分たちの手で育てたヒヤシンスをプレゼントしました。

この活動は、高知県人権擁護委員連合会と高知地方自治局が、子供たちに花を育てることを通じて、優しい心身に育ててもらうことと実施しているもので、昨年十月に各小学校に五十個ずつヒヤシンスの球根を委託していただきました。子供たちは「体に気をつけてお仕事ががんばってください」「これからも元気で長生きしてください」とあいさつ。きれいに咲いたヒヤシンスを一人一人に渡した後、歌を歌ったりして、交流を深め合っていました。

元気に火の用心！



春の防火運動期間中の3月4日、吾同保育園の幼年消防隊が、防火パレードを行いました。

同保育園年長、年中組の三十九名が、笛や太鼓を打ち鳴らしながら、約一キロを行進。おそろいのペレー帽をかぶり、「火の用心！」と元気よく防火を呼び掛ける可愛らしい消防隊に、道行く人も振り返っていました。

捨てないで



「川干し」期間中を利用して、三月七日に舟入川、新川の清掃作業が行われ、流域住民や県南国土木事務所ら約三百五十人が参加しました。午前八時に集合した参加者は、ゴミ袋を片手に、約二時間にわたって、空き缶やビニールなどを回収し、二トランク十八台分のごみが集められました。ごみの量は年々少なくなってきたとのことですが、これからも市民一人一人が環境美化に心掛け、みんなの川をきれいにしていきたいものです。